

## リバイブ・イスラエル活動の最新情報 2010年3月7日 ジョナサン・ムーア

### 宣教活動

- 今月リバイブ・イスラエルのメンバーが福音を伝えたイスラエル人について、以下の通りです：
  - 「D」、「DL」、そして「A」さん。(メシアニック・ユダイズムに関する調査のために質問しに来た3人の学生)
  - 「N」さん。(彼女は数ヶ月間福音を聞き続け、今はイエシュアの名で祈り始めています!)彼女は軍隊に入隊する前ですが、主にしっかりと従おうと決めるのはもうまもなくです。
  - 「A」さん。(若いイスラム教徒の男性)
  - 「E」さん一家。(私たちはEさんの両親のために祈り続けており、すでに私たちが信じるものに対する彼らの立場に突破口がいくつもあることを私たちは見えています。)
  - 「R」さん。(Lさんの友人)
  - 警察官へ福音を伝える機会などを含め、まだ多くあります。(ご心配なく。違反切符は取られていません。)

### 弟子訓練

シャアル・ハケレム(ブドウ畑の門)というヘブライ語での弟子訓練プログラムについて

- 春学期のための教師陣を受け入れ始める。
- 春学期にフルタイムで学ぶ応募を受け付け始めている。

注:この「シャアル・ハケレム」弟子訓練プログラムは、リバイブ・イスラエルのオフィスがあるヤッド・ハシュモナの中にあるもので、学びはすべてヘブライ語で行われています。講師は様々なメシアニックジューの指導者が受け持っています。プログラム中、イスラエル国内での訓練活動をはじめ、プログラムの終わりには海外へ宣教旅行に行く事も組まれています。弟子訓練はリバイブ・イスラエルの中心的な活動の一つです。(2010年2月26日 RI スタッフのジョナサン・ムーア本人からもらったメールより抜粋)

### チームの弟子訓練

- 私たちスタッフ・メンバーは交代でマタイによる福音書からメッセージを行い、他のメンバーから感想をもらっています。これはメンバーが教える能力の開発を行う活動の一環として行われています。

## イスラエル人の主の御体を強める

### アハヴァット・イエシュア・Congregation

- ヤッド・ハシュモナにおいて、エルサレムにある他のCongregationと合同で特別なプリムの祭りが行われました。今回子どもたちに焦点を当て、参加者は皆大いに楽しみました。

### 献金(貧困者や信者の団体への資金援助)

- 1月
  - 新たな献金申請: 12 件
  - 献金申請が受諾された件数: 12 件
  - 献金合計\$ 14,250
- 2月
  - 新たな献金申請: 11 件
  - 献金申請が受諾された件数: 11 件
  - 献金合計\$14,575

### その他

- シヤニさんは全国イスラエル青年会議のための企画チームを指導しています。
- 私たちはエルサレムのパビリオンで行われた全国断食祈禱会に関わる団体を支援しました。オデッド・ショシヤニ氏が司会しました。アシェルはスピーカーの一人で今日におけるエステル書の預言的な意味について力強く語りました。この聖なる会合は賛美と礼拝で始まり、個人的な悔い改めがそれに続き、国家全体の悔い改めに同一化して祈りました。指導者たちはすばらしい一致と謙虚さでもって共に働きました。この断食祈禱会は昨年につき2回目、これからも年2回、ロシュ・ハシャナ(ユダヤ暦新年のお祭り)とプリム祭の時に行われることとなります。
- マティはメシアニックジューによるヘブライ語学校であるマコル・ハティクヴァ(希望の源)の中学生を教えました。主題は「良い判断をすることと人生の成功について」でした。

### 教育関連の活動

- 中国語とオランダ語でのメルマガを開始しました。
- 下記のテーマで英語、ドイツ語、フランス語、日本語、そしてポーランド語で送りました。
  - 神と政府
  - ローマ 11 章に見る、メシアを信じるイスラエルの残りの民に対する神のご計画
  - 「イエシュアは主」の意味と宣言

- モサーブ・ハッサン・ユーセフの証

### メッセージに関する諸活動

- リバイブ・イスラエル・チームはエルサレムにあるラマダで行われた「我が心の旋律(Melody of My Heart)」主催の国際中華系クリスチャン集会で奉仕しました。エディとアシェルは主要メッセージを行い、RI チームは二日間の祈りの集会に参加しました。アビガイルは会議での特別な会合で青年たち、若い成人たちとの分かち合うチームを導きました。

### チームの建物の件と、他のチーム毎の活動

- リバイブ・イスラエル・チームは先月祈りと賛美に 239 人時を費やしました。
- RI オフィスはチームの訓練と計画のための修養会を 3 日間行いました。
  - 期間中すべてをチームの一致に焦点を当てました。
  - エディは指導者間の不一致や誤解について明らかにし、それらに対処するという会合を指導しました。
  - マティは、彼が見るリバイブ・イスラエル5年後の姿についての小集会を指導しました。
  - リアドは外部からの専門家による4時間に渡る、自分が分析的、職務指向、包括的、または変化に富んでいると思う人々のためのコミュニケーション・ワークショップを補助しました。
  - チームメンバーの妻たち、特にオフィスに来ることができない妻たちのために祈りに時間をかけました。
  - 楽しみの時間もあり、午後の間ジープでオフロード運転を皆で楽しみました。
- 祈りの部屋をより大きな、より良い施設に移しました。(新しい場所は元の場所より 30 メートルほど移動したところです。)
- マティはテロの被害に遭ったイスラエル人を支援するための新しいプロジェクトを開拓しています。
- リバイブ・イスラエルは、かつて RI のメンバーであり、今でも近しい契約的パートナーであり続けている人々に対して一日分かち合い、祈りそしてつながりを持つための「パートナーズ会議」を行いました。

### 祈りのリクエスト

- カツィル青年会議が 3 月 22 日～24 日に行われます。
  - RI はその会議の計画に深く関わっています。どうか強められ、知恵が与えられますように、そしてシャニさんのためにお祈り下さい。

- 青年たちの心が主によって整えられ、会議の間深く触れられますように。
- 「O」さん一族にとって今月は非常に厳しい月でした。彼らは最近メヴァセレットの新しいマンションへ引っ越しましたが、引っ越すや否や二人の娘たちが重い病気になるという、強力な攻撃に遭っています。この三週間、彼女たちは病院の入退院を繰り返しています。
- 私たちはヘブライ語によるメシアニック衛星テレビ放送について活動するパートナーシップを率いる機会がありました。これはリバイブ・イスラエルの指導者らがこのプログラムについてどのように進めていくか重要な役割を果たす最初の事となります。
- アシエルのテレビ・インタビューはチャンネル 23 で放送され、そのテレビ局のウェブサイトに掲載されています。どうか多くの人がそれを視聴し、多くの肯定的な反応が得られるよう続けてお祈り下さい。
- 技術的な問題、とりわけ e-mail は相当トラブルを起こしており、この問題は技術的なものより霊的なものと私たちは思っています。すべての技術的なことが正しく機能し、システム問題が完全に、永続的に解決されますよう祈って下さい。